

ダウン症の女流作家 金澤翔子書展「ともに生きる」を鑑賞

長崎歴史文化博物館で開催された書展を鑑賞してきました。

大きな紙いっぱいに描かれた力強い書や、気持ちが伝わってくる書に心癒されました。

展示してあった大きな筆に触れ「こんな重いのでよく書けるなー」と感心したり、車椅子を動かしながら自分たちにも書けるかもと自分たちの可能性を感じた書展でした。

道中、なかなか目にする事のない長崎の路面電車を見つけ大喜びされていました。

